

2024年6月5日

SUBARU ニュルブルクリンク 24 時間レースで SP4T*1 クラス初優勝

SUBARU のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル*2 は、2024 年 5 月 30 日から 6 月 2 日にかけてドイツ・ラインラント＝プファルツ州アイフェル地方のニュルブルクリンクサーキットで開催された第 52 回ニュルブルクリンク 24 時間レースに、「WRX S4」をベースとする車両で参戦し、SP4T クラスで初優勝を果たしました。



SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2024



辰己英治総監督

「SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2024」(ドライバー:カルロ・ヴァン・ダム/ティム・シュリック/佐々木孝太/久保凜太郎)は、SP4T クラスのポールポジションからスタート。きわめて過酷なコースを走行する中で、序盤からノットラブルでリードを築き、スバルディーラーメカニック 8 人を含む整備チームの迅速かつ的確な対応によって完璧なレースを展開しました。しかし、一時総合 40 位まで順位を上げるも濃霧による視界不良のため長時間の赤旗中断。その後も天候は好転せず、レース再開できないままセーフティカー先導のフォーメーションラップにて SP4T クラス優勝のチェッカーフラッグを受けました。

昨年からの参戦となる SP4T クラスにて初クラス優勝、総合順位 51 位*3、周回数 44 周となりました。

「究極の一般公道」「緑の地獄」とも言われるニュルブルクリンク・サーキット(1周 25.95km)における 24 時間レースでのクラス優勝により、SUBARU 車は水平対向エンジン、シンメトリカル AWD をはじめとして、その信頼性や耐久性、高次元のパフォーマンスをあらためて実証し、スバルグローバルプラットフォームや 2.4L 直噴ターボエンジンの真価を証明しました。

SUBARU と STI は、モータースポーツにおいても確かなモノづくりによる「安心と楽しさ」を実現し、今後も世界中のお客様の信頼と期待に応えていきます。

辰己英治総監督コメント

「クルマとしてはほとんど計画通りに仕上がっていました。ただ、予選はドライでクリアラップが取れずでしたが、雨の中カルロが渾身のアタックで 8 分 53 秒台を記録してくれました。車重は重くハイパワーでもないこのクルマですが、GT4 と肩を並べるくらい速いクルマになったなあと感慨深いです。STI の技術を使ったパーツが良い仕事してくれたのだと思います。今年は 7 時間半で終わってしまいましたが、耐久性にも自信があったのでできれば 24 時間を走らせてみたかったですね。とはいえ、悔やむこと、思い残すことはありません。」

<車 両> SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2024

<総 監 督> 辰己英治

<ドライバー> カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、ティム・シュリック(ドイツ)、佐々木孝太、久保凜太郎
レース詳細については、下記オフィシャル WEB サイトをご覧ください。

<SUBARU WRX NBR CHALLENGE 2024 オフィシャル Web サイト>

<https://www.subaru-msm.com/2024/nbr/>

*1: 排気量 2.0L 以上 2.6L 未満のターボエンジン搭載車クラス

*2: スバルテクニカインターナショナル(株)(代表取締役社長: 賈寛海、東京都三鷹市、略称: STI)

*3: レースリスタートによるフォーメーション整理のため